

2022年度

事業計画書

自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日

特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク

2022年度 事業計画

1. 目的

我が国のスポーツボランティア文化の醸成を図り、国民の生涯にわたるスポーツ活動を通じて豊かな生活の形成に寄与することを目的に、以下の事業を実施する。

2. 事業

- (1) スポーツボランティアに関する普及・啓発
- (2) スポーツボランティアに対する各種研修会の開催
- (3) スポーツボランティアに関する調査研究
- (4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

3. 事業実施の方針

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、2021年夏に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会がほぼ無観客で開催された。開催が決定した2013年9月以降、社会におけるスポーツイベントボランティアの関心を高めてきた東京2020大会では、約7万人の大会ボランティアと1万人を超える都市ボランティアが大会を支えた。無観客の影響から、活動人数や一人あたりの活動日数が当初の予定より減ったものの、各所でのボランティアの活躍はメディアを通じて広く報じられ、スポーツボランティアの活性化につながるレガシーの萌芽を遺すことができた。

当会では、東京2020大会や2019年のラグビーワールドカップを通じて高まったスポーツボランティアへの参加機運を、スポーツボランティア継続参加者の活動の拡充や、新たなスポーツボランティア参加者の発掘につなげる事業に重点的に取り組む。具体的には、日本スポーツ協会との連携協定に基づき、同会加盟競技団体が開催する大会での公募ボランティアの活用促進やボランティアマネジメントの改善支援を行うほか、上記2大会や国民体育大会などの開催自治体のボランティアに、多様な活動機会を継続的に提供するためのイベントの掘り起こしや運営体制の改善に協力する。

2022年度も、各地で積極的に活動する一人ひとりのスポーツボランティアやスポーツボランティアの普及に取り組む団体と手を携え、スポーツボランティアの社会的評価の向上と、活動機会の充実に取り組んでまいりたい。

4. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出 見込額 (千円)
スポーツボランティアに関する普及・啓発	会員拡充	通年	全国	8名	正会員(団体)70、(個人)18 賛助会員1(団体)10 賛助会員2(団体)8	4,130
	会員団体による情報発信および情報管理	通年	インターネット	8名	ホームページを活用した会員団体の普及・啓発	0
	コーディネート事業(スポーツボランティア紹介)	通年	全国	8名	350事業	0
スポーツボランティアに対する各種講習会の開催	スポーツボランティア養成プログラムの実施(共催事業含)	4月～	全国	8名	スポーツボランティア研修会 68回 計2,100名 リーダー養成研修会 29回 計635名 上級リーダー養成研修会 2回 計30名 コーディネーター養成研修会 1回 計5名 スキルアップ研修会3回 計45名 ライセンス更新講習会13回 計440名 合計116回のべ3,255名	6,898
	公開講座の開催	6月～	東京都	8名	2回 計80名	935
	スポーツボランティアサミットの開催	12月	東京都	8名	1回 計500名(有料参加者200名)	1,479
	大規模スポーツイベントへの協力	4月～	全国	38名	大規模イベント開催自治体のボランティア活躍支援 1)大会後のボランティア活動の受け皿づくり ・ラグビーワールドカップ(2019年) ・東京2020大会(2021年) 2)大会前のボランティア研修等への協力と 大会後に向けた計画づくり等の支援 ・日本スポーツマスターズ岩手大会(2022年) ・国民体育大会(2022～2024年)	935
	事務局の強化	通年	東京都	18名	事業遂行に係るスタッフの配置	14,361
スポーツボランティアに関する調査研究	スポーツボランティア団体活動実態調査	4月～	全国	8名	競技団体、プロスポーツチーム等	0
広報活動	スポーツボランティアに関する情報発信	通年	インターネット	8名	ホームページ(スポボラ.net) ・募集情報、各種研修会の開催案内等	6,854
講演	外部からの依頼に対する情報提供	通年	全国	30名	大学、行政、企業等	0
						35,592